



東京大学社会連携講座

海事デジタルエンジニアリング講座 設置記念シンポジウム

The 1st MODE (Maritime and Ocean Digital Engineering) Symposium

2022.10.4 (火) 13:00~17:00 (開場12:30)

@東京大学本郷キャンパス伊藤謝恩ホール (オンライン配信あり)

参加費
無料

PROGRAM (今後変更の可能性があります)

司会 村山英晶 東京大学大学院新領域創成科学研究科 教授

開会挨拶 (13:00)

出口敦 東京大学大学院新領域創成科学研究科長
坂下広朗 一般財団法人日本海事協会 会長

祝辞 (13:10)

内藤忠顕 総合海洋政策本部 参与
田村顕洋 国土交通省 海事局海洋・環境政策課長
須賀千鶴 経済産業省 商務情報政策局情報経済課長

海事デジタルエンジニアリング講座の概要 (13:20)

村山英晶 東京大学大学院新領域創成科学研究科 教授

基調講演1 (13:40)

長澤仁志 日本郵船株式会社 代表取締役社長

基調講演2 (14:00)

藤井輝夫 東京大学総長

活動紹介1 脱炭素船のモデルベース開発 (14:30)

武田信玄 三菱造船株式会社 マリンエンジニアリングセンター 船舶技術部 次長

活動紹介2 自動運航船のモデルベース開発 (14:50)

角田領 株式会社MTI 船舶物流技術グループ シミュレーションチーム長

活動紹介3 海事デジタルエンジニアリングのロードマップ (15:10)

山中遼 日本郵船株式会社 イノベーション推進グループ ビジネスインキュベーションチーム 課長代理

パネルディスカッション 海事デジタルエンジニアリングで切り拓く未来 (15:35)

高平智明 ジャパン マリンユナイテッド株式会社 設計本部 理事
矮松一磨 古野電気株式会社 上席執行役員
水谷直樹 Napa Japan 株式会社 代表取締役社長
佐々木吉通 一般財団法人日本海事協会 デジタルトランスフォーメーションセンター長

近藤秀一 マツダ株式会社 統合制御システム開発本部 主幹研究員
山崎美稀 株式会社日立ハイテク モノづくり・技術統括本部 主任技師
Stian Erik Sollied DNV Japan Country Manager
(モデレーター 安藤英幸 株式会社MTI 取締役)

閉会挨拶 (16:55)

北村徹 三菱造船株式会社 取締役社長

サステナブルな海上物流 を実現する

シミュレーション共通基盤の構築へ

申し込みはこちら

海事産業の課題に取り組むための有効な手段として期待されるのが

自動車産業で導入が進むモデルベース開発 (MBD) とモデルベース・システムズエンジニアリング (MBSE) です。

これらを利用することで、複雑な船の設計でも迅速に最適化が図られるだけでなく

荷主・運航者をはじめとする幅広いステークホルダーが参加する協調的な開発プロセスを創り出すことができるようになります。

本講座は、海事分野のためのMBDとMBSEについて研究教育する拠点として

次世代のサステナブルな海上物流を構築するためのシミュレーション共通基盤の開発に取り組みます。



[https://sites.google.com/view/
modelab-symposium/home](https://sites.google.com/view/modelab-symposium/home)

主催 東京大学大学院 新領域創成科学研究科
共催 日本郵船株式会社 株式会社MTI ジャパン マリンユナイテッド株式会社 三菱造船株式会社
古野電気株式会社 日本無線株式会社 BEMAC株式会社 一般財団法人日本海事協会 NAPA Ltd
後援 内閣府 国土交通省 経済産業省 (予定)
協賛 株式会社海事プレス社 株式会社日本海事新聞社

お問合せ
「海事デジタルエンジニアリング講座」準備事務局
Email: modelab2022@gmail.com